

## 1. リビジョンアップ内容

- ・ MS-SQL Server に対応しました。
- ・ 操作マニュアルを追加しました。
- ・ 見積情報テーブルの ” 有効期限 ” を Null 不可から Null 許可に変更しました。
- ・ ユーザーに複数ロール設定されている場合に、ロールの優先順位を判断して表示を変化するように変更しました。
- ・ [購買企業] - [見積選定]画面において、表示項目の “ 履歴 No ” を表示させないように変更しました。
- ・ [購買企業] - [関連見積]において、表示項目の “ 履歴 No ” を表示させないように変更しました。
- ・ [購買企業] - [発注処理]画面において、明細が 0 件の場合は発注登録できないように変更しました。
- ・ [購買企業] - [案件別実績評価]において、起案日以外で表示条件を指定できるように変更しました。
- ・ [購買企業] - [企業別実績評価]において、起案日以外で表示条件を指定できるように変更しました。
- ・ [供給企業] - [見積書作成]画面において、見積書 CD 発行のタイミングを変更しました。
- ・ [供給企業] - [納入通知]画面において、受入完了の G I F を変更しました。
- ・ [購買企業] - [受入処理]画面において、受入完了の G I F を変更しました。
- ・ グループ検索にてグルーピングタイプを指定するよう変更しました。
- ・ [購買企業] - [発注書作成]画面において、金額更新のタイミングを明細登録時に行うよう変更しました。
- ・ [供給企業] - [見積書作成]画面において、金額更新のタイミングを明細登録時に行うよう変更しました。
- ・ [供給企業] - [見積書作成]画面のユーザー検索において、他社の供給企業が表示されないように変更しました。

## 2. 不具合の修正

- ・ BuySide インストール時に作成される BuySide 管理者のロール設定がされない不具合を修正しました。
- ・ BuySide インストール時に作成される BuySide ゲストユーザーが作成されない不具合を修正しました。
- ・ [購買企業] - [公開先選定]において、プライベートグループ名が表示されない不具合を修正しました。
- ・ [購買企業] - [案件状況]画面において、昇順・降順ボタンとページ遷移ボタンを押した時に正常にソートされない不具合を修正しました。
- ・ [購買企業] - [発注状況]画面において、ページ遷移ボタンを押した時に 0 件になる不具合を修正しました。
- ・ [購買企業] - [発注書作成]画面において、金額端数処理の不具合を修正しました。
- ・ [購買企業] - [受入処理]画面において、ページ遷移ボタンを押すとボタンが消える不具合を修正しました。
- ・ [購買企業] - [受入処理]画面において、金額端数処理の不具合を修正しました。
- ・ [供給企業] - [案件リスト]画面において、昇順・降順ボタンとページ遷移ボタンを押した時に正常にソート

されない不具合を修正しました。

- [供給企業] - [見積書作成]画面において、金額端数処理の不具合を修正しました。
- [供給企業] - [発注リスト]画面において、昇順・降順ボタンとページ遷移ボタンを押した時に正常にソートされない不具合を修正しました。
- [供給企業] - [発注請書登録]画面において、昇順・降順ボタンが表示されない不具合を修正しました。
- [供給企業] - [発注請書登録]において、送信メールのタイトルの間違いを修正しました。
- [供給企業] - [納入通知]画面において、昇順・降順ボタンとページ遷移ボタン、及び項目名を押した時に正常にソートされない不具合を修正しました。
- [供給企業] - [納入通知]画面において、金額端数処理の不具合を修正しました。

### 3 . システム要件

Web 受発注システム for BuySide Ver2.2 の動作環境は intra-mart ベースモジュール Ver2.2 の動作環境に準拠します。また、intra-mart ベースモジュール ver2.2 は Java ベースで開発されています。従って、基本的には Sun JRE1.3.0 以上が動作するプラットフォームであればどこでも動作可能です( Web サーバ接続モジュール( Web サーバコネクタ ) を除く。 Web サーバ接続モジュールは下記の弊社動作検証済み環境でのみ動作します )。

ただし、対応データベース及び接続形態については Ver2.2.1 では以下に限定されます。ご注意ください。

- Oracle7.3.4 以上 ( Oracle JDBC Driver 8.1.6 )
- MS-SQL サーバ 7.0 sp2 ( JDBC-ODBC ブリッジ )

以下、弊社動作検証済み（推奨）intra-mart 製品と他社ミドルウェア製品との組み合わせを記します。

intra-mart 製品	intra-mart 稼動サーバOS	intra-mart 対応 Java ランタイムバージョン	対応 Web サーババージョン	Web サーバと intra-mart の接続形態	対応データベース及び接続形態
intra-mart ベースモジュール ver2.2 (Ver2.2.0)  + intra-mart Web 受発注システム for BuySide ver2.2 (Ver 2.2.1)	WindowsNT4.0 SP6a  Windows2000	Sun JRE1.3.0_01	iPlanet WebServer 4.1 (＊)	Servlet	Oracle7.3.4 以上 ( Oracle JDBC Driver8.1.6 ) MS-SQL サーバ 7.0 sp2(JDBC-ODBC ブリッジ)
			Microsoft IIS4.0 / 5.0	CGI	Oracle7.3.4 以上 ( Oracle JDBC Driver8.1.6 ) MS-SQL サーバ 7.0 sp2(JDBC-ODBC ブリッジ)
			Apache1.3.12 / 1.3.19 (+ Tomcat3.2)	CGI Servlet	Oracle7.3.4 以上 ( Oracle JDBC Driver8.1.6 ) MS-SQL サーバ 7.0 sp2(JDBC-ODBC ブリッジ)
	Solaris7	Sun JRE1.3.0	iPlanet WebServer 4.11 (＊)	Servlet	Oracle7.3.4 以上 ( Oracle JDBC Driver8.1.6 ) MS-SQL サーバ 7.0 sp2(JDBC-ODBC ブリッジ)
			Apache1.3.19 (+ Tomcat3.2)	CGI Servlet	Oracle7.3.4 以上 ( Oracle JDBC Driver8.1.6 ) MS-SQL サーバ 7.0 sp2(JDBC-ODBC ブリッジ)
	Redhat Linux6.2	Sun JRE1.3.0	iPlanet WebServer 4.11 (＊)	Servlet	Oracle7.3.4 以上 ( Oracle JDBC Driver8.1.6 ) MS-SQL サーバ 7.0 sp2(JDBC-ODBC ブリッジ)
Apache1.3.19 (+ Tomcat3.2)			CGI Servlet	Oracle7.3.4 以上 ( Oracle JDBC Driver8.1.6 ) MS-SQL サーバ 7.0 sp2(JDBC-ODBC ブリッジ)	

(＊) 15. intra-mart ベースモジュールの制限事項(3)を参照して下さい。

(その他)

LDAPサーバ (動作確認済みLDAPサーバ)

Netscape iPlanet Direcotry Server4.1

Microsoft ActiveDirectory

統合検索モジュール JustSystem ConceptBase2.0 (サーバOS は WindowsNT4.0 Server / 2000 Server のみ)

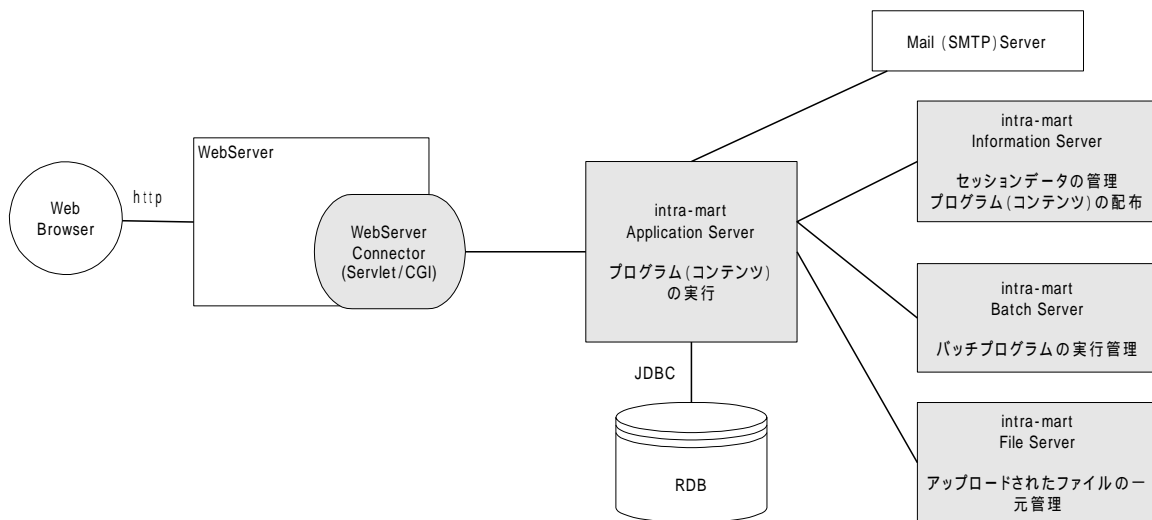
ポータルモジュール ComputerAssociates Jasmine ii Portal 3.0 (サーバOS は Linux を除く。対応ブラウザはIE5.5 のみ)

(注意)・Web サーバおよびDB、その他のモジュール稼動に必要な稼動環境情報 (リソース、メモリー量等) につきましては、各製品 (各アプリケーション) のWeb サイトなどをご確認ください。

・intra-mart ベースモジュールver2.2 を稼動させるには、OS、Web サーバ、DB とは別に 256M のメモリーを必要とします。(推奨 512M)

\* intra-mart Application Server : 64M (Application Server あたり)、Information Server : 64M、File Server : 64M、Batch Server : 64M

- ・稼働に必要な Java ランタイムは左記の URL より入手する必要があります。(製品には付属しません。)  
 「 <http://java.sun.com/j2se/1.3/ja/jre/> 」 (Java ランタイム)  
 「 <http://java.sun.com/j2ee/download.html> 」 (J2EE)
- ・DB (Oracle) 接続で使用する Oracle JDBC Driver for JDK1.2 Ver8.1.6 JDBC ドライバーは Oracle7.3.4 以上での接続を対象としているドライバーです。
- ・DB (Oracle) 接続で使用する Oracle JDBC Driver for JDK1.2 Ver8.1.6 JDBC ドライバーは Oracle8.1.5 以下の Version には付属されておきませんので、別途入手する必要があります。以下のサイトからダウンロードできます。(2000/8/1 現在)  
<http://www.oracle.co.jp/download/jdbcodbc/index.html>  
 MS-SQL サーバへは、ODBC 経由で接続します。(弊社動作検証済 ODBC ドライバは SQL Server3.70.08.20 です。)  
 IBM DB2 へは、IBM DB2 Ver7.1 に付属する JDBC ドライバで接続します。
- ・稼働する環境図を下記に掲載します (\* intra-mart Application Server、Information Server、File Server、Batch Server は 1 台のサーバ内で稼働させてもよい)。  
 (\* この場合最低限必要とするメモリ量は 「OS : x xM」 + 「Web サーバ : x xM」 + 「DB : x xM」 + 「256M」となります。)



## (1) サーバ要件

< Windows NT / 2000 版 >

- ハードウェア -

- ・ Intel Pentium 以上を備えた PC ( Pentium 450Mhz 以上推奨 )
- ・ CD-ROM
- ・ 256MB 以上の RAM ( OS, Web サーバおよび RDB の稼働に必要な RAM は除く。 )

注意 作成されるアプリケーションで多くのメモリーを必要とする処理を想定されている場合や、想定ユーザー数等が多い場合は、より多くのメモリーを必要とする場合があります。この部分等を御考慮いただき必要となるメモリ容量を御算出下さい。

- ・ ハードディスク領域 : 100MB ( intra-mart ベースモジュール込み )

- ソフトウェア -

「 3 . システム要件 」 に準ずる。

## (2) < Solaris 版 >

- ハードウェア -

- ・ Solaris7 の稼働可能な Sparc アーキテクチャマシン機種 ( Ultra Sparc 350Mhz 以上推奨 )
- ・ CD-ROM

- ・ 256MB 以上の RAM(OS,Web サーバおよび RDB の稼動に必要な RAM は除く。)

注意 作成されるアプリケーションで多くのメモリーを必要とする処理を想定されている場合や、想定ユーザー数等が多い場合は、より多くのメモリーを必要とする場合があります。この部分等を御考慮いただき必要となるメモリー容量を御算出下さい。

- ・ ハードディスク領域：100MB ( intra-mart ベースモジュール込み)

- ソフトウェア -

「 3 . システム要件」に準ずる。

### (3) <Linux 版>

- ハードウェア -

- ・ Redhat Linux6.2 の稼動可能な Intel Pentium 以上を備えた PC ( Pentium 400Mhz 以上推奨)

- ・ CD-ROM

- ・ 256MB 以上の RAM(OS,Web サーバおよび RDB の稼動に必要な RAM は除く。)

注意 作成されるアプリケーションで多くのメモリーを必要とする処理を想定されている場合や、想定ユーザー数等が多い場合は、より多くのメモリーを必要とする場合があります。この部分等を御考慮いただき必要となるメモリー容量を御算出下さい。

- ・ ハードディスク領域：100MB ( intra-mart ベースモジュール込み)

- ソフトウェア -

「 3 . システム要件」に準ずる。

### (4) ブラウザ要件

- ・ Netscape Communicator 4.7 以上 ( NC6 を除く )、 Microsoft Internet Explorer 5.0.1 以上の Windows98/NT/2000 版ブラウザ

弊社動作検証済ブラウザは以下の通りです (動作検証済バージョンのブラウザを御推奨いたします。それ以外のバージョンでは動作の再検証が必要な場合があります)。

- ・ Windows98 ( Not Second Edition ) + Netscape Communicator 4.7
- ・ Windows98 ( Not Second Edition ) + Microsoft Internet Explorer 5.0.1
- ・ WindowsNT 4.0 SP 6 + Netscape Communicator 4.7
- ・ WindowsNT 4.0 SP 6 + Microsoft Internet Explorer 5.0.1
- ・ Windows2000 + Microsoft Internet Explorer 5.5
- ・ Windows2000 + Netscape Communicator 4.75

### 4 . Web 受発注システム for BuySide ver 2.2.1 の制限事項

- ・ 本バージョンにはサンプルデータが含まれておりません。

### 5 . intra-mart ベースモジュールの制限事項

- (1) 当ソフトウェアが動作する環境において、他のソフトウェア等をインストールした場合、dll 等のバージョン

により障害が発生する場合があります。

(2) クライアントの Web ブラウザに Microsoft Internet Explorer をご使用の場合、次の制限事項があります。

(a) Internet Explorer 5.x をご使用の場合

- ・ 画面共通モジュールのうち、印刷モジュールが正しく動作しません。
- ・ 不安定な動作が発生する場合、オプション指定で「HTTP1.1」の使用、もしくは未使用にしてお試しください。

(3) Web サーバに Netscape iPlanet WebServer をご使用の場合、次の制限事項があります。

- ・ ファイルダウンロード機能において、日本語（多バイト文字）ファイル名が使用できません。

(4) intra-mart の各サーバを別々のコンピュータにインストールする場合、次の制限事項があります。

- ・ intra-mart の各サーバをインストールするコンピュータは全て、時計(コンピュータのシステム時計)を合わせて下さい。コンピュータごとにシステム時間が違っていると、アプリケーションが正しく動作しない場合があります。

(5) Sun JRE1.3.0 を使用する場合、Module.database オブジェクトを使って MS-SQL Server の text 型カラムの null 値にアクセスすることはできません。(Sun JRE1.3 の不具合。)

(6) Windows ( NT/2000 ) を File サーバとして使用している場合、ユーザ ID やログイングループ ID を大文字小文字の区別をして登録すると、以下のような不具合が発生する場合があります。

- ・ ベースモジュール、StartPack、Web メールなどの intra-mart パッケージでは、メールの添付ファイルなどをファイルへ保存する際、ファイル名、フォルダ名に ユーザ ID やログイングループ ID を使っています。よって、Windows ( NT/2000 ) を File サーバとして使用している場合、ユーザ ID やログイングループ ID を大文字小文字の区別をして登録すると、違うユーザの情報が同じファイルに出力されてしまいます。( Windows ( NT/2000 ) のファイルシステムでは、ファイル、フォルダ名の大文字小文字を区別しないため)

例) ユーザ ID を master と MASTER などとして区別している場合、master のメール添付ファイルの内容と、MASTER のメール添付ファイルの内容は、同じファイルに書き込まれます。

(7) データベースに MS-SQL サーバを使用する場合、MS-SQL サーバが大文字小文字を区別する設定でインストールされていない場合、以下の不具合が発生します。

- ・ メニューの[システム設定]-[データベース]画面でシステム DB 構築を行った際、一部の初期データが一意制約違反となり登録できません。

(8) **データベースを利用する際の注意点**

各データベースベンダーの JDBC の実装及び Sun JRE の JDBC-ODBC ブリッジの実装により、一部の文字が化けるという問題があります。

弊社では、下記ドライバを使用したときに以下の全角文字が化ける（ ? 文字に置き換えられる ）ことを確認しています。

## Oracle8.1.6 JDBC ドライバを使用したとき文字化けする文字一覧

### ・テスト環境

Oracle 8.1.5

Oracle JDBC Driver 8.1.6

-

ミリ キロ セン メー グラ トン アー ヘク リッ ワツ カロ ドル セン パー ミリ ベー

mm cm km mg kg cc m<sup>2</sup> “ „

KK.

Ⓐ Ⓑ Ⓒ Ⓓ Ⓔ

(株) (有) (代) 聯 証 聯 鞆

## JDBC-ODBC ブリッジ経由で Oracle8.0.5 ODBC ドライバを使用したとき文字化けする文字一覧

### ・テスト環境

Oracle 8.0.5

Oracle ODBC Driver 8.0.5

~ -

ミリ キロ セン メー グラ トン アー ヘク リッ ワツ カロ ドル セン パー ミリ ベー

mm cm km mg kg cc m<sup>2</sup> “ „

KK.

Ⓐ Ⓑ Ⓒ Ⓓ Ⓔ

(株) (有) (代) 聯 証 聯 鞆

## MS-SQL サーバ ODBC ドライバを使用したとき文字化けする文字一覧

### ・テスト環境

MS-SQL サーバ 7.0 sp2

MS-SQL サーバ ODBC Driver 3.70.08.20

Sun JRE1.2.2-005

~ -

ミリ キロ セン メー グラ トン アー ヘク リッ ワツ カロ ドル セン パー ミリ ベー

mmcmkmmgkgccm<sup>2</sup>

“ „

KK.

ⒺⒻⒼⒽ

(株)有(代)明治大証和平成

(9)弊社より提供される intra-mart ベースモジュール及び Web 受発注システム for BuySide のデータベース構造はバージョンアップ時に前置きなく変更される場合があります。そのため intra-mart ベースモジュール及び Web 受発注システム for BuySide で提供されているデータベース構造をお客様が変更したり、またはそのデータベース構造に依存したアプリケーションを作成した場合、バージョンアップ時の動作保証の対象外となります。ご注意ください。

また、公開されているソースコードをカスタマイズした場合においてもバージョンアップ時の動作保証の対象外となります。

---

その他最新の技術情報やパッチ提供はintra-martFAQサイトを御参照ください。

intra-martFAQ : [http://faq.intra-mart.com/support\\_center/](http://faq.intra-mart.com/support_center/)

以上